



県では、若手社会人女性と女子学生を対象として、同世代や異業種の方と交流しながら、自分のこれからの働き方や将来のビジョンについて本音で語り合い考える交流会「Yamagata Women's Link」を開催しました。

開催日／2025年9月11日(木) 13:30-17:00 会場／オウゾプール山形(山形市七日町1-4-35)

参加者／社会人47名・学生14名

パネルディスカッション

「多様なロールモデルから学ぶ私の未来」をテーマに、異業種で活躍する3名の女性から、山形での自分らしい暮らし方や働き方のヒントを得られるトークセッションを行いました。



佐藤 萌以 氏

真室川町生まれ新庄市育ち。デザインの仕事をした後、地域おこし協力隊を経て、(一社)雪と暮らし舎を設立。週の前半はデザインの仕事、後半は地域の伝承野菜を使ったおはぎ屋を経営。

●周囲に助けてもらいながら働く 自分も他の人を応援したい

おはぎ屋の開業には多くの困難があったが、地元の菓子店の方や保健所の職員の方に相談し、一つ一つ課題をクリアしながら準備を進めてきた。周りの人に味方になってもらい、自分の不安や気持ちを打ち明けることで開業のスタートラインに立てた。地域おこし協力隊を卒業した人の生業(なりわい)づくりやチャレンジしたい気持ちをサポートし応援していきたい。

福島県出身で大学進学を機に山形へ。NDソフトウェア㈱で介護に関するソフトウェアの開発エンジニアとして働く。3人のこどもを育てながら、管理職としてマネジメントにも従事。

●仕事と家庭の両立 人に頼ることと優先順位をつけることが大事

管理職になって1年ほど経ったが、会社全体に視野を広げながら、性別にかかわらず働きやすい職場をつくるために奮闘中。繁忙期はこどものお迎えや家での世話は義父に助けてもらっている。人に頼るのは苦手だが、やるべきことの優先順位をつけながら、周囲のサポートで仕事と家庭を両立していきたい。



高橋 涼子 氏



山川 唯美 氏

生まれも育ちも山形市。子育てしながら働くことに葛藤する中、「一つのことに縛られずやりたい方に進んでみたらどうか」とのビジネスコンサルタントからのアドバイスで転職。2025年から父親のエンター合同会社を事業継承し経営者としての顔も持つ。

●山形には何もない⇒ないものは自分で作れる！

会社員として「やらなくてはいけない仕事」は、“やるべき「責任」を果たしたときの「評価」される喜びを感じるためにやる”という考え方に変わってから、働くことが楽しく気持ちも楽に。やりたいことがたくさんあり、そう思ったら絶対にやらないと気が済まない。ゼロから自分で作っていくため、仲間を自ら探して会いに行ったり相談したりすることで実現に近づけていくようにしている。

パネルディスカッションのポイント

「まわりの人とつながり、支えてもらいながら課題を解決していく」

仕事も家庭も自分一人ではできないことが沢山あるからこそ、誰かに相談したり頼ったりすることが大切ということが、パネリストの3人のお話に共通していました。三者三様の暮らし方・働き方がある中で、それぞれが自身の生き方に肯定感を持ちながら、生活や仕事にやりがいや楽しみを見出していることが窺えました。



グループトーク 1回目

少人数のグループで普段感じていることを話し合いながら、自分の可能性や未来について考えるグループトークを行いました。

社会人同士のグループ

テーマ

仕事と生活の両立×キャリアアップ・管理職を目指すために



仕事・生活について

頑張っていること

- プロジェクトチームのリーダー経験が面白かったので続けたいと思っている
- 就職先がなくフリーランスを選択したが、仕事と子育ての両立のため、テレワークでの働き方を確立している
- 育児や夫の仕事の手伝いで忙しいが、やることを取捨選択している

悩んでいること

- 男性ばかりの職場でコミュニケーションをとるのが難しい
- 夫との育児分担が難しい。こどもが体調を崩した時に自分ばかり休むのは…
- 結婚、出産も考えているが、ライフステージの変化に合わせて仕事をしていけるか不安
- 気軽につながりを作ることができるコミュニティがない

キャリアアップや新たなチャレンジに必要なこと

仕事と生活の両立に向けて

- 個人の努力だけでは解決できないため家族や職場の人など周囲の協力が必要
- 働きやすい職場環境(制度やサポートの充実、新しいことや変化を受け入れてくれる雰囲気など)

今後のキャリア形成について

- 人それぞれ多様な働き方・キャリアの形がある
転職やライフステージの変化に合わせた働き方を選ぶことができればいい



グループトークのポイント

現在の仕事・生活に満足しつつ、さらに挑戦したいという人や転職・起業を考える人など、参加者それぞれが多様なキャリア観を持っているようでした。子育てをしている方は、育児と仕事の両立に悩みながらも、働くことを諦めず、工夫したいと考える方が多く、家族や職場など周囲のサポートを求めていることが窺えました。

学生同士のグループ

テーマ

山形で暮らし働く未来の自分



自分の今の生活について

頑張っていること

- ゼミや地域活性化に関する活動、学生プロジェクトなどに積極的に取り組んでいる
- インターンシップやアルバイトを通じて地域や社会との接点を広げている

悩んでいること

- 就職活動が不安。何から始めたらいいのかわからない。将来像が描けずにいる
- 学業とアルバイトの両立が大変
- アルバイトで生活費を稼いでいるが、奨学金の返済が心配

「山形で働く」ってどんなイメージ？

- 山形の人は優しい、地元愛が強いと感じる
- 大学で学んだことを活かして山形に貢献したい
- 女性の県外流出が顕著だと聞いたが、女性の仕事に限られているのではないか？
- 山形には自分になりたい職業はあるのだろうか？



グループトークのポイント

学生たちは学業やアルバイト、地域活動などを通して自身の日々の生活に充実感を得ている一方、これらの両立や、就職活動・キャリア形成に対して悩みを抱えているようでした。「山形で暮らし働くこと」にはポジティブな印象を持ち、地域とのつながりを大事にしたいという気持ちもありつつ、山形での仕事の選び方や山形で働く具体的なイメージについては不安を感じており、社会人のリアルな体験やアドバイスを聞きたいという声が多く聞かれました。

グループトーク 2回目

学生と社会人との交流

テーマ

山形で暮らし働くために～学生のホンネ×社会人のホンネ



学生からの質問

Q.なぜ今の仕事を選んだの？

- 進学で都市部に出たが自分に合わないと感じ、山形での就職が一つの軸になった
- お金より「やりがい」に重点を置きたいと思い就職活動をした

Q.山形で働いて良かった点は？

- 自然が身近にある暮らしができること
- 人と人との距離が近く、顔が見える関係性が築ける安心感があること

社会人から学生への質問・アドバイス

Q.若い人が都会に出て行ってしまう現状をどう思う？

- 「山形に残る意味」をどう伝えていくかが課題ではないかと思う

Q.どんな会社に入りたい？

- 年間休日が120日以上取れるところや、福利厚生がしっかりしているところ

●学生へのアドバイス

- 就職活動をする際は、色んな会社を見て選んだ方が良い
- 学生のときにしかチャレンジできないこともあるので、やりたいことに挑戦して



グループトークの ポイント

学生から社会人に対しては、これからの就職活動について気になっていることを中心に質問がありました。社会人からは自身の経験を活かしたアドバイスがあり、仕事を考える上で大切にしていることや、働くことに対する価値観は人それぞれで、キャリアの形も多種多様であることが共有されました。

「あなたが望む山形の実現に必要なもの、こと」についてのワーク

女性や若者に山形で暮らし働きたいと思ってもらうために必要なこと

多様な働き方を 自分で 選べる環境

- フレックス制度
- リモートワーク
- 柔軟な休暇制度

学生のときから山形の 企業の情報を 知る機会を整えること

- 学生のインターンシップの受け入れ企業を増やす
- ロールモデルとなる社員の紹介
- 奨学金返済の支援制度

子育てしやすい環境と 支援を整えること

- 支援制度等の情報をより入手しやすく
- 妊娠、出産、産休、育休～職場復帰までの切れ目のない支援
- 子育てにかかわる補助金

インフラや ハード面の整備

- 公共交通機関（電車、バス）の充実
- こどもの遊び場、大人の遊び場、イベントを増やす
- 大型ショッピングモール等の商業施設を増やす

交流の場の提供、 コミュニティの形成

- 学校や会社以外でのつながりを持てる場
- もっと多様なロールモデルと出会う場
- 若い世代の意見を反映していくこと

自分自身が今後チャレンジしたいこと

副業

資格取得

自分がリーダーになって
次の女性リーダーを
育てる

こどもたちの
居場所づくり

起業して
自分の好きなことで
お金を稼ぐ

山形の発展に
貢献できる
仕事がしたい

山形の良さ・魅力を
発信したい

人とつながり
情報交換できる
場をつくりたい



ワークのポイント

理想の山形についての意見交換では、柔軟な働き方を可能にする制度や子育てに関するサポート、様々な人とつながり交流していく場を求める声が多く聞かれました。また、この交流会を通して「色んな人とつながる」ことで自身の気持ちや考え方に変化が生まれ、新しい行動の選択肢が広がるということに気づき、今後も積極的に交流していきたいと感じた方も多いようでした。

まとめ



メインファシリテーター
浅野 えみ 氏

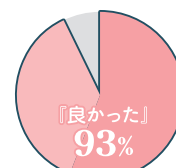
今回の交流会には「まだやりたいことが見つからず、そのきっかけを探しに来た」という方や「今は家庭や子育てで手一杯だけど、いつかは仕事でも結果を出したい」という方など、多様な目的意識を持つ方々が集まりました。また「新しい生き方や働き方を模索している方」「社会に出る前に何かチャレンジをしたいと考える学生」もご参加くださいました。皆さんがそれぞれの人生に真摯に向き合い、考え、努力されている話に大変刺激を受けました。皆さんの思いが実現すれば、きっと山形は更に魅力的な場所になるだろうと強く感じています。

グループトークの中では「柔軟な働き方を支援する制度」や「インフラなどのハード面の整備」を求める具体的な声が聞かれました。参加者自身が今後取り組みたいこととして3点「主体的に情報を得る力」「多くの人とつながり、関係を構築する力」「積極的にチャレンジしていく姿勢」が多く挙げられ、初対面にも関わらず、活発に意見交換がなされ、会場は熱気に包まれていました。こうした前向きな志を持つ山形の女性の皆さんと共に、私自身も一員として、これからも取り組んでいきたいと決意を新たにしました。

参加者の声

Q1. パネルディスカッションはいかがでしたか？

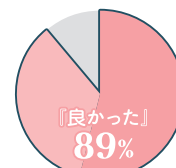
- 参考になるロールモデルを知ることができた。**私もチャレンジしたい**と思った。
- 一人ひとり、それぞれの人生を歩まれていて楽しそうだなと思いました。
- お話を聞いていたら、社員だったり起業していたりと境遇は人それぞれで、**人生に正解はない、自分の思うように生きたい**のだと思いました。
- それぞれ違う道のりで、山形という場所で自分のやりたいことを見つけて働いたり子育てをしたりしている姿がすごく参考になりました。



非常に良かった 56%
良かった 37%

Q2. グループトーク1回目はいかがでしたか？

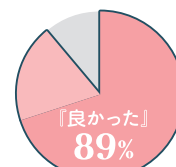
- 学生ならではの悩み、感じていることを話し合えて共感する場面も多々あった。
- 社会人同士では、**世代別の悩みを共有できて、新鮮な場**だった。女性ならではのライフステージごとの悩みなどもお聞きできて良かった。
- 悩みについて、**「分かるー」と共感**できた。みなさんが頑張っている様子を聞くことができて頑張ろうと思えた。
- 仕事で悩んでいる社会人経験が浅い若手の方の相談に乗り、自分なりにアドバイスできたのはうれしかった。



非常に良かった 54%
良かった 35%

Q3. グループトーク2回目はいかがでしたか？

- 山形でこんなに多くの女性がチャレンジしている姿が見られて、**自分も頑張ろう**と思った。
- 色んな生き方、働き方があることを知って、**山形に残るメリットが自分の中で多くなった**気がする。
- 普段はあまり話さない社会人の方と**本音トークができて楽しかった**。頼れる先輩女性がたくさんいて、普段話せないことも話せた。
- 大学生や若い世代が山形に対して思っていることを知ることができてよかった。みんなが望む社会は似ているところがあったので、**今日書き出されたことが実現されたい**なと思いました。



非常に良かった 70%
良かった 19%

Q4. 交流をきっかけに新たに取り組みたいと思ったことや、気持ちの変化を教えてください！

- 山形に残るといふ思いは以前からありましたが、山形が大好きなみなさんから良い刺激を受けて、**より山形が好き**になりました！
- 人との交流の場を求めている人が多いということが分かり、**交流できる場をつくることに携わりたい**という気持ちが高まりました。
- パワフルな方々から刺激を受け、自分も**前向き**になった。
- 仕事と育児、どちらか一方を諦めるのではなく、母親も一人の人間なので、自分らしく生きるためにも仕事しながら**「格好いいお母さん」と子どもたちに思ってもらえる生き方**がしたい。
- キャリアアップのために努力したいと思った。**ポジティブ**になった。

その他の意見や感想

- 山形の人は温かいという意見を聞いて、今回のようなイベントに参加してこなかったことがもったいなかったと思いました。自分はまだ県外で挑戦したい気持ちもありますが、地元で人とのつながりを広げることができれば**県内でやりたいことを見つけることができる**かもしれないと、参加者の皆様から刺激を受けて、思うことができました。
- すぐためになる機会になりました。初めてこのような交流会に参加して**楽しかったし、もっと学びたい**と思ったので、また参加します！ありがとうございました。
- なんだかんだ言っても山形が大好き。暮らしやすい県だし、**ずっと山形で貢献したい**。

